

明海大学



MEIKAI UNIVERSITY

潮風



浦安キャンパス教育後援会

2008年度評議員会

今年度の事業計画と予算案を審議

次の10年へ向け、気持ち新たに

5月31日(土)、浦安キャンパス第二管理研究棟3階大会議室で2008年度教育後援会評議員会が開催された。4月に就任した安井利一学長をはじめとする教職員の臨席のもと、昨年度の事業報告や収支決算報告、そして今年度の事業計画や予算などについて審議を行った。教育後援会20周年の節目を迎え、次の10年への方向性を打ち出す年度となりそうだ。

教育後援会ならではの

支援事業を展開

2007年度事業を総括

仲村務副会長の開会宣言の後、谷昭夫会長が「教育後援会20周年の節目の年。より一層充実した事業を展開できるよう、大学側と力を合わせてやっていきたい」とあいさつをした。

続いて大学を代表して今年度学長に就任した安井利一学長が「私も明海大生の一人」と本学歯学部出身というプロフィールをまず紹介し、「今、大学は厳しい状況に置かれていますが、選ばれた強い大学をつつていくための体制固めをし

ているところです。変わらぬご支援をお願いします」とあいさつ。

その後、谷会長が議長に選出され、議事に移った。まず大学側から、今年度の学年暦、入試結果、在学人数、学生支援課による修学支援の日程、就職支援の日程、夏季インターンシップの要項、海外留学・海外研修予定など大学の近況報告が行われ、2007年度の教育後援会の事業報告と決算報告が事務局よりなされた。

CONTENTS

- 2頁...学生表彰
- 3頁...安井利一学長 ご寄稿
- 4~5頁...特集① 就職活動の現在 関東地区就職懇談会から
- 6~7頁...特集② 浦安キャンパスめぐり
- 8~11頁...特集③ 教育後援会 20周年を迎えて 保護者アンケート結果まとまる
- 12頁...わが子を留学させるには

題字「潮風」は初代理事長の故・宮田慶三郎氏によるものです



昨年度の主な事業として、教育後援会主体事業として地区教育懇談会を新たに信州地区を含め7カ所で開催したことのほか、教育後援会たより「潮風」の発行、奨学金制度、28名の学生を表彰した学生表彰などが挙げられた。

このほか、部・サークル等課外活動団体の援助、学園祭の援助、学友会サマー



キャンパスへの協力・援助や、留学生親善サッカー大会など留学生連合会主催行事への援助、課外教育活動特別強化援助といった学生の自主的活動(団体)への支援、協定校交流にとまなう長・短期派遣学生の援助、地区懇談会開催など就職対策等の支援、部・サークル活動活性化のため

に学生食堂に大型テレビとDVDなどを寄贈したこと、少人数教育、学部教育への援助、学友会と顧問教員、部・サークル活動顧問教員への援助、課外教育活動団体指導者への援助、ピアサポートセミナーの援助など28の事業を実施した。その成果、収支決算などが報告され、全会一致で承認された。

ここで仲村務副会長以下、2008年度の役員と評議員が自己紹介を行った。

より効果的な

支援を目指して

2008年度の事業計画

新年度の役員が決まったところで、谷前会長から仲村副会長に議長がバトンタッチされ、議事再開となった。引き続き2008年度の事業計画案と予算案が発表された。

今年度もこれまでどおり、①教育後援会主体事業、②学生の自主的諸活動(団体)支援、③大学実施事業支援の3つの柱に基づいて

事業が計画されている。「個々の事業を見直し、より効果的な支援ができる内容にしたい」と仲村副会長。その取り組みの一つとして、これまでの奨学金制度を見直し、保護者の生活急変に対処できるしくみづくりが検討されることになった。このほかには、昨年同様7地区での地区懇談会開催

次の10年を考える

スタートの年に

明海大学浦安キャンパス教育後援会会長

仲村 務



2008年度会長を務めさせていただくことになりました仲村です。どうぞ宜しくお願いします。

明海大学浦安キャンパス教育後援会は、1988(昭和63)年、浦安キャンパス開校と同時に「明海大学外国語学部・経済学部父兄会」として発足しました。今年創立20周年を迎えましたが、この間、会員の皆様には本会の運営や諸活動に対しご理解とご協力を頂戴し、心から御礼申し上げます。

さて、創立20周年目の今年は、本会の活動にとつて大きな節目の年であり、次の10年を考えるスタートの年です。

本会では、今年2月に保護者アンケート調査を実施させていただき、皆様から多数かつ貴重なご意見を頂戴しました。ま

ためは本号に掲載いたしました。このことから2008年度の事業を進めていくにあたって、一つひとつ検証しながら、本会の宝物としてきちんと活かししていきたいと考えています。

この4月、大学は安井

学長・小泉副学長の新体制でスタートを切られ、明海大学のブランド力・知名度アップにさまざまご努力されています。また浦安キャンパス同窓会は、今年の卒業生を含め2万名を超える組織となりましたが、後輩をバックアップするため母校の評価を高めるため懸命に活動してくれています。

私も保護者としても、学生たち全員がたくましく生きていける人間になるとともに、「明海大学を選択してよかった。卒業して良かった」と満足してくれるように是非したいのですが、「開校20年と歴史が浅いハンディはあるが、今や全国誰でも知っている東京デイズリゾートがある浦安市にあって、ユニークな学部があって、二ノクな学部があって、坂戸には歯学部もあって日本一に足りないはずはない」との力強い励ましも地元の方々からたくさん頂戴しています。

今後、本紙やホームページを一層充実させ、本会の事業をできるだけタイムリーにお伝えしたいと考えております。会員の皆様におかれましては、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。